

「自分とマチを彩る若者会議」に係る企画・運営業務委託の公募型プロポーザルについて
いただいた質問に対して、以下のとおり回答します。

No.	質問項目	質問内容	回答
1	業務内容にSNS投稿等の広報活動について	【仕様書】 5業務内容に「SNS投稿等の広報活動も行う」とありますが、大分市が運営・利用可能なSNSアカウントやその他広報媒体について教えてください。	大分市が公式に運営している利用可能なSNSアカウントや広報媒体には、Facebook、X、Instagram、LINE、ホームページがあります。 なお、広報活動の幅を広げるために、上記のアカウントを活用することはもちろん、事業者独自のアカウントを開設し、よりターゲットに合った情報発信を行うことも一つの方法と考えます。
2	履行場所について	【仕様書】 6業務項目（3）に「業務履行場所において若者会議を招集」とありますが、大分市の施設を利用できますか。もし市の施設を利用する場合、使用料は無料でしょうか。また、市の施設以外（市内民間施設など）も選択可能でしょうか。	現在、庁内の会議室を確保しており、特定の日程であれば無料で利用可能です。 また、庁舎以外の交流施設等の市の施設、市の施設以外の民間施設の利用も選択可能ですが、その場合は、会場の利便性や費用を考慮しながら、適切な場所を選定する必要があります。
3	成果品について	【仕様書】 8成果品（2）に「コーディネーターの活動報告」とありますが、ここにいう「コーディネーター」は、ワークショップのファシリテーターではなく、業務全体を統括する役割の者を指すのでしょうか。	その通りです。 ワークショップのファシリテーターが個々の進行を担当するのに対し、コーディネーターは事業全体の円滑な運営を支える役割と考えています。